

学習指導案（国語科）

実習校

指導教諭 先生 ㊦

実習生 〃 ㊦

1. 対象 1年1組（38名）
2. 日時 令和2年9月28日 第1限
3. 場所 1年1組教室
4. 単元名 「詩の世界」（「国語1」 光村図書）
5. 単元の目標 それぞれの詩の表現の特徴をとらえ、描かれた情景を想像する。

6. 教材観

導入の文章と三編の詩により構成されている。心情を表現しているものは、色彩による表現や「太陽」「月」など言葉の持つイメージから、作者の心情を比較的捉えやすいと思われる。情景を表現しているものは、読解に多少の解説が必要だと思われるが、作品の世界観はイメージしやすいものになっている。ある程度までは方向性の定まった読解になるが、最終的には多様な解釈が可能な作品でもある。

7. 生徒観

中学校の生活にも慣れてきた頃であり、休み時間等は賑やかな様子である。授業中は教師の発問に対して、積極的に答える様子も見られる。一方で生徒間の学力差も見られるため、授業内容が容易に理解できる生徒のペースになってしまわないよう、全体のバランスを見ながら進めていくことに留意する必要がある。また、自分の意見や感想を述べるのが苦手な生徒もいるため、そういった点にも留意する。

8. 指導観

詩自体は以前に扱ったことがあるため、それを踏まえつつ、この単元では表現技法など詩の特徴や、情景をイメージすることを中心に授業を行う。最終的に多様な解釈が可能な点から、時間に余裕があれば自分の考えを表現、発信する活動まで持っていきたい。

評価基準

意欲・関心・態度	知識・理解・技能	思考力・判断力・表現力
<ul style="list-style-type: none"> ・詩の内容を踏まえて自分の考えを書いているか ・導入の内容や表現に関心をもち、詩を味わう観点について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の用語や言葉の意味を的確に捉え、内容を理解しているか ・表現技法が、それぞれの詩においてどのような効果を生んでいたかについて理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の表現の特徴を捉え、描かれた情景や作者の伝えたい思いについて想像し、詩を読み味わっているか

指導計画

時間	学習活動	指導の留意点	評価基準
第一時	<ul style="list-style-type: none"> ・導入文 ・「てがみ」 表現技法、内容の読み取り	<ul style="list-style-type: none"> ・答えが一通りでない発問は、多様な答えを受け入れつつ、自分なりの考えを形成することにつなげられるよう留意 	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元で学ぶことを大まかに理解しているか ・表現の特徴を捉えつつ、自分の考えを形成することができるか
第二時	<ul style="list-style-type: none"> ・「魚と空」 ・「太陽」(表現技法まで) 表現技法、内容読み取り	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が考えを発信できる機会を設け、それをもとに授業を進めていくことを意識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を自分なりに解釈し、情景をイメージすることができるか
第三時	<ul style="list-style-type: none"> ・「太陽」(内容読み取り) ・ワークシート 		

本時案 (第二時)

本時の目標

- ・表現の特徴を捉え、描かれた情景をイメージする。

本時の展開

時間	学習活動	指導の留意点	評価基準
導入 (3分)	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・前回までの軽い確認 ・教科書 P70 を開く ・プリント配布 ・目標確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書、パワーポイントに映す 	
展開 (3分)	<ul style="list-style-type: none"> ○魚と空 ・本文音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員起立して行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的な態度で行っているか
(3分)	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたこと、印象を 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴を意識して

(3分)	記入 ・発表	・最初は口頭で行う	いるか
(4分)	・一連内容	・出た意見を板書する	・情景を想像できているか
(5分)	・二連内容 ・比喻表現の説明	・「翼で海を打つ」の動画(7秒～)を見せる ・絵を板書し説明する ・例をいくつか挙げさせたい ・プリントに記入させる	・表現技法を理解しているか
(5分)	・三連内容 ・倒置法の説明	・教科書に番号を振り、語順を入れ替える過程を用いて説明する	・文章の構成から技法を理解できているか
(2分)	・四連内容		
(3分)	・プリント発問「もうひとつの空とは何だと思えますか。」	・訂正箇所(プリントは「ひとつ」が漢字になっている)を伝える。 ・板書する	・他人の意見も参考に、自分なりに考えを形成できているか
(4分)	・意見を聞く		
(3分)	・「うお」と読む理由を考える	・ペアワークにして行う	
(3分)	発表	・板書	
(3分)	三連の「魚」の読みを考える(「さかな」か「うお」か)	・最終的に挙手で意見を聞く	・詩への解釈を深められているか
まとめ			
(4分)	まとめ	・パワーポイントに表示 ・プリント記入	
(2分)	・次回予告	・色鉛筆があれば持ってくるよう伝える	

詩の世界②

年 組 番 名前

目標…表現の特徴を捉え、描かれた情景をイメージする。

魚と空 (木坂涼)

気づいたことや印象、メモなど

[]

- ・「りんごのように赤いほつた」など、別のものにたとえて表現する技法を()表現という。
- ・語順を入れ替えて表現することを()という。

○「もうひとつの空」とは何だと思えますか。

[]

まとめ

[]

太陽 (八木重吉)

気づいたことや印象、メモなど

[]

- ・文末の「 」は()を表している。またそれが「たり」とともにくり返されることで、()が生まれている。

○「太陽」について考える。

自分の身の回りのものなどに置き換えて考えてみよう。

[]

まとめ

[]